

タイトル～<大きなヘソ>が良いの？ or <千円30回転>が良いの？

■近年で、事の始まりは、「P牙狼 MUSEUM」

当該機種のリリースが「2022年9月」の事。当時「1/149.6～1/319.7」の6段階設定付きと言うスペック。  
 当時の機種状況としては、依然【P エヴァ15】&【P Re ゼロ鬼がかり】が稼働の中心で君臨していた時代でもあり、当該機種の「稼働貢献は6週(アウト=8,000発程度)で終了」とイマイチな成績でした。

ちなみに、今現在でも設置台数が「全国=約500台」程度の設置がされています。  
 当時の運用としては、「実運用確率=1/180～200(設定②=1/195)」・「B=20%」・「有効S=11.0回」・「千円S=34回」くらいで、「玉単価=1.3円」・「玉粗利=0.3円」(台粗利=3,000円)くらいの営業でしたねぇ。

<余談>ながら、当時の私の【新機種評価】は、こんな感じでした(汗

TKC		パチンコ新機種情報						スペック概要 & 機種評価							
機種シリーズ名(メーカー)		P牙狼MUSEUM-MA (サンセイR&D)						納品開始日		2022年9月11日					
型 式 名	機種タイプ	賞 球	確 率			100%分岐S (B=23%)	営業出玉率 (S=5.5)	確変性能		一般電サポ性能		出 玉 (払出し個数)			
			設定	低確率	高確率			突入	継続	状態	回数	カウト	カウト	出玉	
P牙狼MUSEUM-MA	確変ループ 潜伏確変 (継続タイプ) エイトメモリー	始動口	1&1 個	①	1/ 319.7	1/ 68.62	10.5 回	70 %	17.1%	17.1%	確変中 潜伏継続 通常後	次回	10	3 R	450 個
		電チュー	1 個	②	1/ 195.0	1/ 41.84		96 %	【時短引き戻し率】 ・時短50回=14.5% ・時短100回=26.9%	潜伏継続		10 R		1,500 個	
		アタッカー	15 個	③	1/ 187.2	1/ 40.20		98 %		0 回					
		【遊タイム】	左入賞口	4 個	⑤	1/ 159.8		1/ 34.31		105 %		10,000 回			
		非搭載	右入賞口	3 個	⑥	1/ 149.6		1/ 32.12		110 %					
		【販売予定台数】 3,000 台								115 %					
<small>(※出玉率シミュレーション概算値は、「B=23%」・「BA=90%」を基準。 ※「B=2%差」=「出玉率=1.0%」=「玉粗利=0.050円」に該当します)</small>															
特賞振分	初回(ヘソ)・・・<確変> 10R=12.5%(電サポ=次回まで ※魔戒チャンス) ・3R=2.3% ・10R=2.3%(潜伏確変・潜伏継続) <通常> 10R=35.2% ・3R=47.7%(時短=なし)														
	魔戒チャンス中・・・<確変> 10R=14.8% ・3R=2.3%(電サポ=次回まで) <通常> 10R=35.2% ・3R=47.7%(電サポ=10,000回 ※GAROAD)														
	GAROAD中・・・<確変> 10R=14.8% ・3R=2.3%(電サポ=次回まで) <通常> 10R=35.2% ・3R=47.7%(電サポ=なし)														

【集客貢献力】★★★  
 サンセイPresentsの【Aタイプパチンコ】の「第3弾」となる、「第1弾」は<P牙狼コレクションRJ(ライトミドル・設定6段階)>で「2019年11月」リリースとなる。  
 ユーザーへの告知のキーワードは、『スペックを謳う』のでは無く【歴代牙狼・10年間8機種が終結!】とする事で、「牙狼ファン」の興味を得たいところだが...

【稼働貢献力】★★  
 狙う顧客層は「パチンコ牙狼のファン」であり、且つ「ハイミドルに疲れた」パチンコ顧客層になる。純粋に『牙狼と言うパチンコを楽しみたい』ユーザー数次第。  
 通常時の【エイトメモリー】は、稼働貢献度を上げる効果はある。<注意>間違っても、『(設定①)は使わない』様に! (※確実にユーザーに伝わります)

【粗利貢献力】★★★★  
 ゲージ構成上、『スタート値は変動しない』=『設定変更で粗利構築をする』事になる。  
 基準となる出玉率は、あくまでも【下限ベース値】における出玉率となるので、平均的には『基準値以上の出玉率はない』。

【売上貢献力】★★  
 想定される玉単価は、「1.1円～1.2円」程度を想定。

【資産貢献力】★  
 基本的に4円パチンコでも中古需要は極めて少なく、「低パチでの需要」となると推定される。  
 『わざわざ選択する機種では無い』状況は必然の流れになる。結果、中古需要度は低くなり連動して売買流通価格も低くなり【10万円以下】と推定。

<セールスポイント>  
 通常時のスタートは【S=10回】基準で、【8個保留】で、消化秒数は【最短=1.2秒】で、【1時間=600回】の回転数を可能とする。  
 演出は「シリーズ10年分の歴代牙狼が蘇る」【STモード】&【リーチコレクション】。ST中は「1変動=1回転or2回転」があり、ST中のスピード感もアップ!

※数値・情報の掲載において正確な情報提供を心掛けておりますが、万が一誤植等がありましたらご容赦頂くと共に、ご一報頂いたら幸いです。(有限会社トータル・リンク・コネクションズ)

設定による特賞確率が「設定②=1/195」としても、有効S=11回(千円S=34回)ですので、当時のセブン機と比較しても、概ね2倍くらい回る状態ですので、プレイヤーの投資金額の体感的には「大当たり確率=1/99」の甘デジ並みであり、それはそれで良かったのですが、いかんせん【ライトミドル帯の牙狼】と捉えられた事に対して、『出玉感が伴わない』『連チャンしない』と受け止められた事が、稼働低下の要因だったと思われます。

## ■そして【大きなヘソ】=【千円S=30回】として再燃したのが・・・

「2024年7月」リリースの【P貞子FMD(1/201)】であり、「2024年8月」リリースの【eフィーバー機動戦士ガンダムユニコーン2R(1/349.9)】でした。

●4円パチンコでの<稼働貢献週>を確認してみる(2月25日現在)と・・・

【P貞子=33週継続中】・【eガンダムユニコーン2=29週継続中】と、稼働のトップ戦線からは外れたものの、まだまだ4円平均アウト値を上回っており、頑張っている最中です。

●<中古価格相場>を確認してみると・・・

【P貞子=35万円(前後)】・【eガンダムユニコーン2=15万円前後】と、こちらも安定しておりますね。

前回の「P牙狼MUSEUM」と比較して、今回の2機種稼働貢献週が長い理由としては、やはり・・・

『**【ラッキートリガー】**と言うキーワードの影響(=イメージ)が大きい』と考えられます。

回転数が「千円S=30回」となると、「千円S=15回」の現行機種においては、同じ特賞確率であれば『初当りまでのユーザー投資金額は半分になる』訳で、本来ならば「TYも半分」になる訳ですし、その点では「P牙狼MUSEUM」と同じです。が一撃出玉性能の話になると、それは全く異なり、『RUSH突入したら、10,000発超えも期待できる』スペックで、ユーザーもそれを理解・承知しているからこそ、『ちょっと触ってみるか』の動機になっていると思います。

## ■まだまだ広がる、【大きなヘソ】=【千円S=30回】への挑戦。

これに分類該当する機種が、まだまだ追加されそうで、3月後半には【サミー/e真北斗無双5 SFEE(1/319.7)】がリリースされ、引き続き5月(GW連休明け)には、【ディ・ライト/e攻殻機動隊SAC\_2045AH-RS】・【京楽産業./e仮面ライダーBLACK-KRJ2】、5月後半には【マルホン/PファンキードクターD】と続きます。

ざっくりスペックと見るならば・・・

・【e攻殻機動隊SAC】・・・「大当り確率=1/189.9」 / 初回RUSH突入率=50.0%

・【e仮面ライダーBLACK-】・・・「大当り確率=1/233.4」 / 初回RUSH突入率=33.5% (※チャージ当り含む)

と言う感じでして、【等価分岐S値】は共に「千円S=30回」(有効S=10回前後)になります。

当然「ラッキートリガー対応仕様」ですから、一撃出玉性能も秘めています。

何度も申し上げて恐縮ですが、「千円S回数が現状セブン機の2倍回る」と言う事は、単純に『大当り確率からイメージする投資金額も、現実的に1/2になる』と言う事は踏まえておきたいところです。

つまり、「回って、遊べて、一撃出玉の期待も(一応)ある」と言うスペック。

ぶっちゃけ、タイトルにある様に、【千円30回=他機種より2倍回る】事が最重要なファクトですが、それを連想させるためには【大きなヘソ】が必須となる訳で、「回らない大きなヘソ」じゃ全く意味が無いですね(大汗)

●ちなみに・・・ホール運用としては「有効S=10回」としても、保留3~4個の停止秒数が短いことから、液晶演出が止まる事もありますし、ヘソ入賞スランプにより「千円25回以下」の状態もザラにあるでしょう。

そこで重要なデータ管理を一つ、ご提案しておきますと・・・

【**スタート有効率**】(有効S÷S入賞)も注視して頂きたいと思います。

この数値は、打ち手によっては、100%~90%の範囲で変化しますし、実質的に「有効S値の10%の差=1.0回」の違いは、「千円S=3回」の差になりますので、稼働時の体感では分かり難いですが、例えば「1万円打った時の差=30回」は大きな数字と捉えられる可能性がありますので、軽視する訳には行きませんね。

## ■どんな「顧客層」を狙った上で導入検討するのか？

新台導入初動時は、まずは『今後のデカヘソ新機種はどうなん？』と興味津々な客層が打つ事になるでしょう。その上で「あ～だ、こ～だ」と評論が始まり、釣られて『じゃあ俺も私も、一度触ってみるか』の広がり期待する。

### ●その上で、一つ期待したいのが【(夜来店含む)短時間遊技のパチンコ顧客層】

最近では『夜のピークが無くなった』と嘆きの言葉も耳にする現実の中、この【大きなヘソで2倍回る！】&【一撃出玉も期待出来る】と言うスペックマシンの提供は、将来的な「LT3.0 機種との双極」として位置づけ、ホールアナウンスも強化しつつ、『店舗の押し機種としてラインナップする事は、十分検討して良いのでは？』と思います。

個人的には、演者来店イベント施策している店舗さんにて、パチスロばかりでは無く「パチンコ押し機種へのチャレンジ」だって、注目度からして十分効果はあると思っていますよ。

現状では、過去機種含めて「5機種のラインナップ」が登場する事になりますが、この先は他メーカーもチャレンジして来る事でしょうし、『どの客層を狙うのか？』『どう集客に繋げるのか？』『どうアナウンスしていくのか？』含めて、導入検討して欲しいと思っております。

## ■《余談》～呼称には注意が必要かも！？

この【大きなヘソ】に関しては、各メーカーが商標登録をしています。

(中古機含めて)導入の際は、一応メーカー確認しておく必要があると思います。

特に、ホールアナウンスに限らず「来店演者のPR」の際も、事前に通達しておきましょう。

### 《参考》(※ザックリまとめ)

- ・サンセイR&D・・・超ドデカS
  - ・藤商事系・・・BIGスタート
  - ・SANKYO・・・超WIDEスタート
  - ・サミー系・・・ドデカSTART
  - ・大一系・・・大入りスタート
  - ・京楽系・・・デカヘソ
  - ・マルホン・・・ヘソワイド
  - ・三洋系・・・超WIDEスタート
  - ・ニューギン・・・デカスタ
  - ・平和系・・・LL(??)
  - ・七匠系・・・メガSTART・ギガSTART
- その他、未確認。

※広告宣伝等で使用等、必要な場合は必ずメーカー様にご確認下さいませ。

<このコラムは、[無料コンテンツ](#) に該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください>

<また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします>

\*\*\*\*\*

有限会社 トータル・ノウ・コネクションズ

住所：長野県長野市大字小島325-3 TEL：026-256-9677 FAX：026-256-9688

ホームページ <http://www.tkc-g.jp> メールアドレス [info@tkc-g.jp](mailto:info@tkc-g.jp)

\*\*\*\*\*